

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 26年 6月 04日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 兵庫県加古郡播磨町新島47-2

氏 名 星光PMC株式会社 播磨工場

工場長 川村 義晴

電話番号 079-437-7687

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	星光PMC株式会社 播磨工場
事業場の所在地	兵庫県加古郡播磨町新島47-2
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1639 その他の有機化学工業製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 338,400万円 (平成25年度実績)
③従業員数	74人 (平成26年3月時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 状	【前年度（ 25 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排 出 量	t t
	(これまでに実施した取組) 平成17年10月にISO14001を取得。全従業員による小集団活動（改善活動）を通して不良品の撲滅、廃棄物等の削減を実施。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排 出 量	t t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き全従業員による小集団活動を実施し、環境に対する継続的な改善を図る。廃棄物の削減目標は前年度1%（外部廃棄委託量）に設定し達成を目指す。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック2種類、廃油、汚泥、木くず、燃えがら等をそれぞれ分別して保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 25 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 特になし。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 25 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組) 汚泥脱水機、汚泥焼却炉の維持管理を徹底。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組) 特になし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 全従業員による小集団活動を通して不良品の撲滅、産業廃棄物等の削減に取り組んでいる。排水処理ピット汚泥の減量を実施した。		

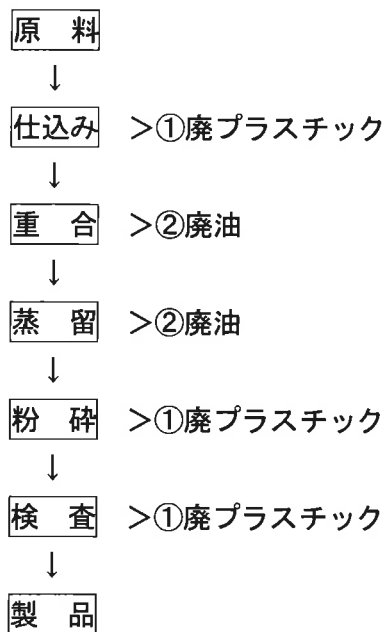
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 引き続き小集団活動を通して不良品の撲滅、産業廃棄物等の削減に努める。また排出廃棄物のリサイクルを推進し埋立処分の減量に努める。優良認定処理業者への処理委託を推進する。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

○産業廃棄物の一連の処理の行程

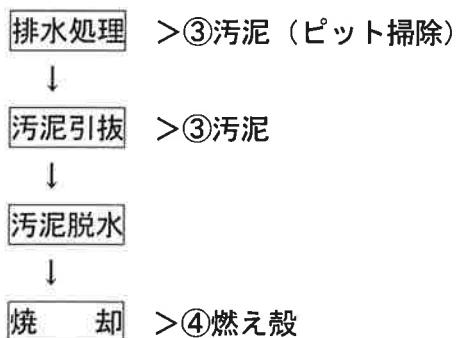


①廃プラスチック

- ・ 収集運搬<委託：大栄環境> → 破碎・焼却<委託：大栄環境>
→ 焼却残さは管理型処分場に埋立処分<委託：大栄環境>
- ・ 収集運搬<委託：大栄環境> → 管理型処分場に埋立処分<委託：大栄環境>
- ・ 収集運搬<委託：日本ウエスト> → 破碎・圧縮成型<委託：日本ウエスト>
→ RPF として販売
- ・ 収集運搬（フレコンのみ）<委託：光商> → 再利用<委託：姫路環境開発>

②廃油

- ・ 収集運搬<委託：新日本開発、ハルミ> → 焼却<委託：新日本開発>
→ 焼却残さはセメント原料<委託：住友大阪セメント>
- ・ 収集運搬<委託：パルテック> → 焼却<委託：パルテック>
→ 焼却残さは管理型処分場に埋立処分<委託：大阪湾広域臨海環境整備センター>



③汚泥

(ピット掃除)

- ・収集運搬<委託：ヤマダ廃送> → 焼却<新日本開発>
→ 焼却残さはセメント原料<委託：住友大阪セメント>

(汚泥引抜)

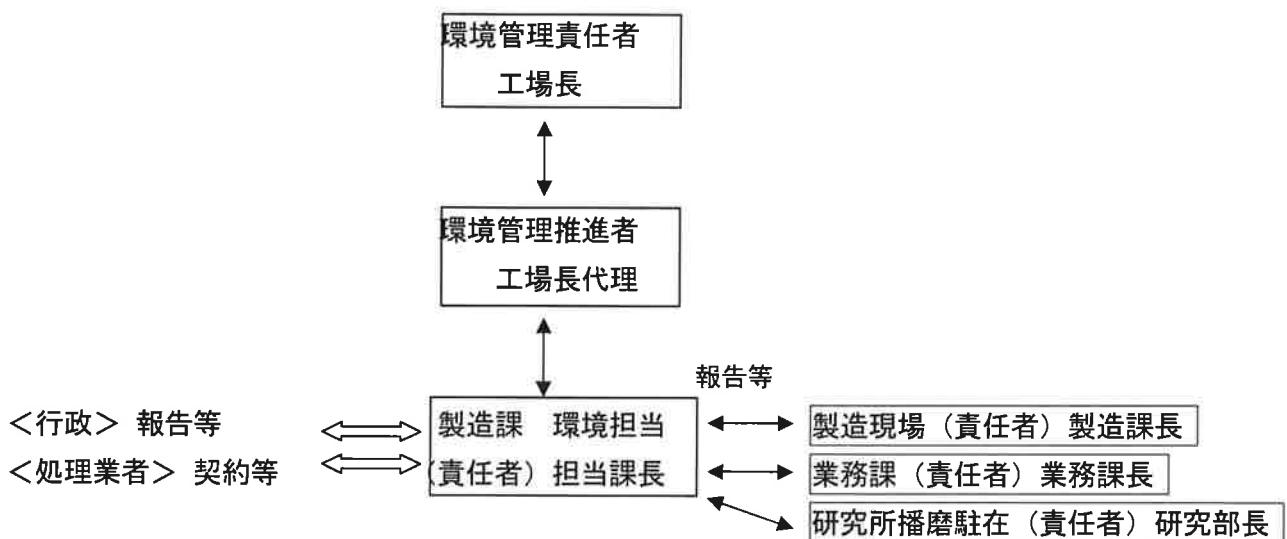
- ・社内で脱水し焼却後燃え殻として委託処理

④燃え殻

- ・収集運搬<委託：アマタ> → 加工<委託：アマタ>
→ セメント原料として処分<委託：住友大阪セメント>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



*分担

環境管理責任者

- ・環境（廃棄物）管理に関する各種事項の決定、承認

製造課 環境担当

- ・廃棄物削減計画の作成
- ・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
- ・処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等の手続、引渡し、適正処理の確認
- ・電子マニフェストの交付、管理
- ・行政への各種報告
- ・社内環境教育、啓発

製造現場、業務課、研究播磨工場駐在

- ・部署内の産業廃棄物の発生量削減、分別、場内保管場所への運搬

・ 課員への分別方法等の徹底

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度（平成 25 年度）実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	汚泥
排出量	41t	68t	3742t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	汚泥
排出量	41t	67t	3705t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度（平成 25 年度）実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	汚泥
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	汚泥
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度（平成 25 年度）実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	汚泥
自ら熱回収を行った量	0t	0t	333t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	3670t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	汚泥
自ら熱回収を行った量	0t	0t	330t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	3633t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状 前年度（平成 25 年度）実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	汚泥
自らを埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	汚泥
自らを埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	0t	0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度（平成 25 年度）実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	汚泥	燃え殻
全処理委託量	41t	68t	16t	28t
優良認定処理事業者への処理委託量	41t	11t	16t	28t
再生利用業者への処理委託量	36t	0t	0t	28t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	汚泥	燃え殻
全処理委託量	41t	67t	16t	28t
優良認定処理事業者への処理委託量	41t	67t	16t	28t
再生利用業者への処理委託量	36t	0t	0t	28t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t